

## ソフトテニス

# 松元・原ペアが県優勝

### 秦野市内から8ペアが関東へ

秦野ジュニアソフトテニスクラブの松元康希・原碩亮ペアが、横須賀大津テニスコートで5月9日に行われた第29回関東小学生ソフトテニス大会神奈川県予選会・高学年男子の部で優勝。

7月3日(土)、4日(日)に茨城県で行われる本大会への出場を決めた。後衛が守って前衛が打つ、息びつたりのプレーで優勝をつかんだ同ペア。「今は次の全国大会予選を控えて



関東大会出場を決めた秦野ジュニアのメンバー  
後列左端2人が優勝した松元・原ペア

いるので喜んでもらえない。目標はもちろん優勝です」と抱負を語った。なお同ペアは一昨年に関東大会で優勝を飾っており今回も活躍が期待される。そのほか県予選でベスト8入りし、関東大会に出場する市内選手は以下の通り

(敬省略)  
高学年男子の部/菊地寛人・日高聡介ペア(丹沢ジュニア)、高学年女子の部/木村理沙・高沢早紀ペア(秦野ジュニア)、城所真緒・中川結衣ペア(同)、小峰彩椰・大嶋流菜ペア(丹沢ジュニア)、低学年男子の部/伊東裕也・山口宏幸ペア(丹沢ジュニア)、浜島伊織・河井健太ペア(秦野ジュニア)、低学年女子の部/檜山あかり・川嶋菜結ペア(同)

■秦野版/No.2622平成22年6月3日(木)

今、タウンニュースが面白い

ソフト  
テニス

## 松元康希・原碩亮ペアが全国へ

### 気持ちの切り替えと粘りのプレーで県大会制す



念願の全国出場を決めて笑顔の松元(左)・原ペア

秦野ジュニアソフトテニスクラブ所属の松元康希・原碩亮ペア(ともに大根小6年)が、5月16日に横浜市立南高校で行われた「平成22年度全日本小学生ソフトテニス選手権大会神奈川県予選」で優勝。県代表として、全国大会への切符を手にした。

同大会は、地区大会を勝ち抜いた18ペアで競われた。松元・原ペアは予選ブロック2戦を危なげなく突破し、6ペア総当たり戦の決勝リーグへ。

初戦、後藤・為我井ペア(横浜泉)を4-3で降し、迎えた2戦目、近藤・齋藤ペア(大和)に0-4のストレートで敗れた。「気持ちの切り替えと粘りのプレーで県大会制す」

だが一時的に落ちたけど、次は負けられないと思っただ。「ここまでの気持ちの切り替えがよかった」と同ペアは話した。

続く3戦目の工藤・渡辺ペア(大和)を4-3で破って勢いを取り戻し、4戦目の石川・荒川ペア(横浜泉)を4-1、最終戦では春の小学生選手権全国2位の強豪、飯田・平野ペア(伊勢原)を4-2で撃破した。「楽な試合がなかった」と同ペアが振り返るように、2位以下3ペアが3勝2敗という大混戦となったリーグ。後衛がつなげて前衛が決めるプレーで接戦に次ぐ接戦を粘りきり、4勝1敗で優勝を勝ち取った。

同ペアは、ともに父親の影響で4歳からラケットを握り始めた。小学2年生のときからペアを組み、同じクラブで練習を重ねてきた。全国大会へは冬の大会で3回出場経験があるが、夏の大会では今回が初めて。「とにかく2人で全国に行きたかった」との思いが結実した。

松元選手は「初戦に勝って波に乗りたい。できればベスト4に、原選手は「ベスト4に入りたいです」と息もぴったり。8月5日(木)から8日(日)まで北海道旭川市で行われる全国大会に挑む。